

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	52	箇条 3			本文中で特に用語を定義していないのでは	この規格で用いる主な用語及び定義は、本文中で規定する。 → この規格には、定義する用語はない。	この規格は気圧試験を実施する際の基本情報を提供する要求事項を含まない文書で、用語の規定も含みません。しかし、対応国際規格の箇条 3 には 4.2 及び 4.3 を意図した“Terms and definitions are defined, in context, throughout the present standard.”との記載があり、この趣旨を汲んで、次のように和訳を一部修正しました。 「この規格では、用語の定義を文脈の中で説明している。」
若月	39	1		Ge	この規格は、保管、輸送及び使用中にさらされる可能性がある製品への適用のために・・・ この表現だと何にさらされる可能性があるのか よくわからないのではないのでしょうか？	この規格は、保管、輸送及び使用中に様々な気圧にさらされる可能性がある製品への～	ご指摘に従って修正いたします。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
加藤	248	3.1.5			“この規格の以前の版”は JIS C 61810-1:2020 も含むと考えてよいか  対応国際規格 IEC 61810-1 (4th) においては、3rd 以前の版と考えられるが、この JIS は、現行の JIS に IEC 規格の Amd1 を対応させたものであり、版は近い (4th と Ed.4.1 の違い) と思われるが、“この規格の以前の版”に対する取扱いに JIS C61810-1 : 2020 も含めても問題はないか		JIS C 61810-1:2020 は含まれておりません。3rd 以前です。  この規格の以前の版が明確になる様に修正します。  “以前の版は、JIS C 4540-1:2010”を追加。  [なお、この規定は、IEC 61810:2015 (4 版) から追加されておりますが、その背景をまとめて、解説に記載しております。]
加藤	983	13.3			可能表現であれば注記でよい。本文にするなら、許容表現になるのでは (附属書 H 1404-1405 行目参照)	適用可能である → 適用してもよい	ご指摘どおりに修正します。
加藤	1216	D.1	表 D.2		項目名“試験サイクル時間”に単位 s の記載が必要ではないか	試験サイクル時間 $s$	ご指摘の通り修正します。  (応国際規格の抜け)
加藤	1478	附属書 L			試料を置く鉄板の厚さは 3 mm に限定されるのか	3 mm の鉄板 → 3 mm <u>以上</u> の鉄板	ご指摘どおりに修正します。  原文では“a 3 mm thick steel plate.”で「以上」はありませんが、対応国際規格が引用している IEC 60695-10-2:2015 ボールプレッシャー試験には、試験片受台について“負荷装置を保持できる、十分な強さをもっている。”と規定されているだけで、厚さの規定はありません。対応国際規格に 3 mm が追加された経緯は不明ですが、基となる引用規格の趣旨 (十分な強さ) を考えて“以上”を追加します。
加藤	1527	N.3.2			引用規格に記載の西暦年を記載する	IEC 61760-1 → IEC 61760-1: <u>2006</u>	ご指定どおり修正します。
加藤	1543	O.2	図 O.1		図の上から 2 番目の口内 誤記	誤用 → 誤使用	ご指摘どおり修正します。
加藤	1557	O.3			“リスクを減らす場合”から始まる段落は、細別 f) の内容なのか、それとも別の段落なのか	細別 f) の内容であれば、インデントを整える (現行は通常本文)	ご指摘の通り修正します。  インデントを調整します。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/図/表/ (e.g. 表1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
						の位置にある)	
下川	113	1		GE	文章「～低電圧装置(交流 1000V 又は直流 1500V 以下の回路)に組み込む～」は、次の意味ですか?  「～交流 1000V 又は直流 1500V 以下の回路に使用する低電圧装置に組み込む～」		ご指摘の通りです。  低電圧装置の中での回路において AC 部・DC 部を持つものがあるかと思えます。この文章で示そうとしているのは、低電圧装置の中の AC 部 DC 部分の回路の開閉で使われるリレーとしています。
下川	118	1		GE	117～129 行の例のうち、「電気設備」は何をイメージしていますか?		原文は「electrical facilities」です。  備え付けを伴う電気機器(エアコン等)、配電盤の一部などをイメージしております。
下川	414 他	3.5.4		GE	「閉成」及び「開離」と「閉路」及び「開路」は同義語ですか?		意味としては同じです。  ただ、対応国際規格では異なる英文となっており、JIS でも異なる次の表現としました。  原文[contact which is open/close]  閉成 接点が閉じていること 開離 接点が開いていること  原文[contact circuits]  閉路 回路がつながること 開路 回路が遮断されている  (接点の視点と回路側の視点とによる表現の差になります。)
下川	615	5.7		GE	何の「周波数」ですか?		周波数=開閉頻度です。
西原	826 及び 829				± 2 K と記載ありますが、2℃ではないのでしょうか?		このままとします。  温度の SI 単位には、基本単位のケルビン (K) と組立単位のセルシウス温度 (°C) があります。

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

委員名*	行番号 (e.g. 17)	箇条/ 細分箇条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
							<p>温度単位については、JIS に次の規定があります。</p> <p><b>JIS Z 8000-5 量及び単位—第 5 部：熱力学</b></p> <p><b>5-1a</b> ケルビンから</p> <p>「熱力学温度及びセルシウス温度の温度間隔又は温度差の単位の大きさは、同一である。このような温度間隔又は温度差は、ケルビン (K) , 又はセルシウス度 (°C) のいずれで表してもよい。」</p> <p>一般に、IEC 規格では温度間隔又は温度差は、ケルビン (K) を使用するため、JIS もこれに従っています (対応国際規格どおりとします。)</p>
本吉	1582~ 1585	O.4	表 O.3 表 O.4	ge	表内でグレー塗りつぶしの意味がわからないため、説明を追加したほうがよいのではないかと	<b>O.4</b> 本文中もしくは表の下にグレー塗りつぶしの説明を追記する	<p>グレーの塗りつぶし (ハッチング) を削除します。</p> <p>対応国際規格 IEC 61810-1 は、IEC/TC94 によって 2015 に改正されましたが、同委員会がその後に改正した次の規格の該当の表には、ハッチングはありません (削除されました。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• IEC 62314:2022 Solid state relay</li> <li>• IEC 61812-1:2023 Time relays for ...</li> </ul> <p>対応国際規格のハッチングは誤記と判断されますので、削除いたします。</p>

コメントタイプ: ge = 一般的 te = 技術的 ed = 編集上

\*欄 (委員名・箇条/細分箇条、コメントタイプ、コメント) : 必須入力。入力されていないと投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。

コメントテンプレートはいかなる方法でも変更しないでください (例えば、列の削除・追加、セルのマージなど)。変更した場合、投票システム (National Ballots) が適切に作動しません。